

平成21年度現場創造型技術（匠の技）活用・普及支援事業
「農業技術の匠」選定実施要領

第1 趣旨

農業者の高齢化や後継者不足の進行、農産物価格の低迷等が進む中で、地域農業の基盤となる新たな技術、人材、経営資源が不足し、地域活性化に向けた打開策が見つからない地域が増加している。

しかしながら、こうした地域にあっても、農業現場において優れた技術を生み出し、実践してきた農業者が少なからず存在しており、農業者が生み出した特色ある技術を新たな地域資源として地域の課題解決に有効に活用できれば、地域の活性化に結びつく可能性が高い。

このため、地域活性化に資する現場創造型技術を有する農業者を「農業技術の匠」として選定することにより、技術の継承・普及を通じた地域の持続的な活性化に資するとともに、匠の選定を通じて現場創造型技術への関心を深めるものとする。

第2 選定要件

「農業技術の匠」は、地域において生産性の向上など導入効果が認められ、地域に普及し、地域活性化などに貢献することが期待できる農業技術^{※1}（技術体系・品種）を自らが開発・改良した農業者^{※2}について、都道府県（普及指導センター）から推薦された者の中から、農林水産省生産局長（以下「生産局長」という。）が選定する。なお、当該農業技術は、具体的に内容を記述できるものに限るとともに、古くからある技術やある程度普及した技術であっても、今後の普及が期待できる農業技術は、選定の対象とする。

※1：知的財産として権利化された技術等を有する農業者についても、当該技術等が広く活用することができるものであれば選定の対象とする。一方、当該技術自体が既に商品化されているもののほか、当該技術の内容等が公表できないものや試験研究機関が開発した技術については選定の対象外とする。

※2：農業者グループ及び現在は離農しているが過去に農業を営んでいた者も含む。

第3 募集方法

生産局長は、農林水産省のホームページ等を通じて「農業技術の匠」を公募するとともに、地方農政局長及び沖縄総合事務局長（以下「農政局長等」という。）を通じて（北海道にあっては直接）、都道府県知事に対し、「農業技術の匠」の推薦依頼を行うものとする。

第4 応募

1 応募書類

応募に当たっては、別紙1の応募様式に従い、次に掲げる書類を提出するものとする。

- (1) 概要書（背景・内容・活用状況・ポイント、推薦者（各都道府県普及主務課長又は普及指導センター長））
- (2) 技術等の詳細説明資料
- (3) その他参考資料

2 提出方法

各都道府県普及主務課長は、第2の選定要件に照らして特に適当と認められる「農業技術の匠」候補者について、応募書類を農政局長等を経由し（北海道にあっては直接）、生産局長に提出するものとする。

3 応募期間

平成21年7月1日～平成21年8月31日

第5 選定方法

- 1 選定委員は、別紙2の選定基準により選定を行う。
- 2 生産局長は選定委員会の結果を踏まえ、「農業技術の匠」を選定する。
- 3 選定に際して、農政局長等は必要に応じて現地調査を実施することができるものとする。

第6 選定数等

- 1 「農業技術の匠」の選定者数は50名を目途とする。
- 2 生産局長は、選定結果を「農業技術の匠」へ通知するとともに、農政局長等を通じて（北海道は直接通知）、都道府県に通知する。また、農林水産省のホームページ等でその概要を公表する。

第7 その他

選定後、各「農業技術の匠」の技術を農林水産省のホームページで紹介するなどして、「農業技術の匠」の活動について情報発信を行うことを予定している。また、「農業技術の匠」による講演や助言指導などにより、「農業技術の匠」の技術の継承・普及を通じた地域の持続的な活性化に資するとともに、農業者及び消費者等の現場創造型農業技術への関心を深めるものとする。

第8 問い合わせ先

農林水産省生産局技術普及課普及活動推進班

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

TEL 03-3502-8111（内5201） FAX 03-3597-0142

(別紙 1 : 応募様式①)

平成 2 1 年 月 日作成

平成 2 1 年度現場創造型技術（匠の技）活用・普及支援事業
「農業技術の匠」概要書

1. 候補者の概要

(ふりがな) 氏 名	()	生年月日 (年齢)	T. S. H.	年 月 日 (歳)
所属団体				
連絡先	住所			
	電話		FAX	

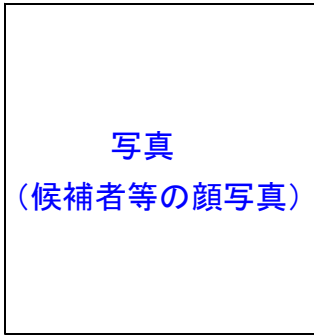
2. 候補者の「農業技術の匠」に関する技術概要等

技術テーマ名					
技術確立の 背景及び目的					
技術の内容・効果 (独自性、有用性 の内容・効果など)					
技術の活用状況 (普及性、地域活 性化の状況など)					
技術のポイント					
推 薦 者	所 属				
	氏 名				
	連絡先 (担当者)	住 所			
		担当者			
	電 話		FAX		

※ 難しい用語はふりがなを付けるとともに、用語の説明を別途添付すること。

(別紙1：応募様式②) 技術等の詳細説明資料

「農業技術の匠」：^ふ〇〇^り ^が〇〇^な さん (〇〇県〇〇市)
～ 技術テーマ名 ～

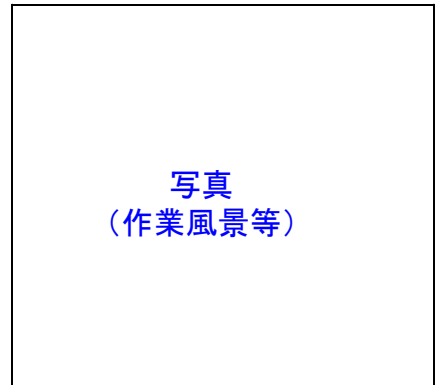


[〇〇 〇〇さん]

1 技術確立の背景(目的)

2 技術概要(技術効果)

3 技術の地域への活用状況(普及状況)



[写真の説明文]

※最寄りの普及指導センター { 〇〇県〇〇農林水産事務所〇〇農業普及指導センター
住所：〇〇県〇〇市〇〇町×-×
TEL：〇〇〇〇-××-〇〇〇〇

<技術のポイント>

技術を説明するキャッチフレーズ

- ①
- ②
- ③
- ④

<記入上の注意>

写真や図表等を使用しながら、分かりやすく記述すること。

○記述する内容の例

- ・技術の年間スケジュール（流れ図、栽培暦）
- ・匠の候補者の技術と既存技術との比較
（特に匠の候補者が開発又は改良した技術を詳細に記述）

なお、記述に際しては、既存技術との差異を明確に示し、普及活動の参考にできるものとする。

また、「農業技術の匠」の技術が既にある程度広まっている技術である場合は、特に、現在の普及活動の実績など、今後の普及が期待できるかどうか分かるように記述すること。

- ※応募様式②については、選定後、基本的にこれを HP 等の公表等として使用するため、A 4 2 枚とすること。
- ・候補者の「農業技術の匠」の技術の参考資料として、上記で例示した項目を補足するマニュアル、研修会資料、新聞記事等の参考資料
 - ・普及指導センター、試験場、JA、商工業者等の連携がある場合はその連携(分担)表等を添付すること。

(別紙2)

「農業技術の匠」選定基準

項 目	判 定
<p>① 有用性 高品質、高収量、省力化などの導入効果が期待される技術であるか。</p> <p>② 普及性 農業者等への継承など地域における普及が期待される技術であるか。</p> <p>③ 地域活性化 地域や地域農業の活性化が期待される技術であるか。</p>	<p>A 優れている B 優れていない</p>